



CyberAgent

株式会社 サイバーエージェント

急成長する動画共有サービス「アメーバビジョン」

— 容量・性能の拡張性と信頼性の問題に終止符を打ったクラスタ ストレージ



「株式会社 サイバーエージェント」

アプリケーション

国内最大級の動画共有サービス「AmebaVision (アメーバビジョン)」(URL: <http://vision.ameba.jp/>) における動画の保存、共有用ストレージ

課題

既存のファイルサーバでは、増大する動画の容量、ユーザ数ならびにアクセス数において限界があり、ある一定レベルまでいくと、新規システムに買い換える必要がありました。また、急激に増大する容量やパフォーマンスに対するシステムの増設や管理コストの増大も大きな問題でした。

Isilon IQ のメリット

サイバーエージェントは、容量・性能の拡張性、管理の容易性、保守性、信頼性、運用コストの観点からシステムを検討し、以下の理由からIsilon IQを選定しました。

- 導入時の手間がかからず運用が簡単
- 専任管理者が不要のため、管理コストが安い
- クラスタならではの高可用性
- 容量・性能の拡張性が非常に高い
- 抜群のトータルスループット

Web2.0をキーワードに新サービスを次々に投入

株式会社 サイバーエージェントは、1998年、インターネット関連の企画営業業務を目的として設立されたインターネットメディア事業、インターネット広告代理事業、投資育成事業を軸とするインターネット総合サービス企業です。

現在同社の注力事業であるブログメディア「Ameba (アメーバブログ)」は、2008年2月時点、国内のブログ開設者270万人を誇る国内最大級のブログサービスに成長しています。このアメーバブログを中心に、動画共有サービス「アメーバビジョン」やブロガーと企業をつなぐ口コミ促進サービス「AmebaPR」など、Web2.0をキーワードとした新しいサービスが次々に投入されています。

2006年2月にスタートしたアメーバビジョンは、開設当初、システムから運用・管理に至るまで外部にアウトソースしていましたが、サービスが成長するに従って、安定性やパフォーマンスが低下。更に月々の運用コストも高額になっていたため、自社開発によるシステムの全面リプレースに踏み切ることになりました。その際、ユーザが投稿した動画データを格納するストレージの再構築も同時に検討されました。



株式会社 サイバーエージェント
新規開発局インフラグループ
永栄 宏安氏

コスト面に加えて、運用性と信頼性の高さを評価

2007年春からシステム全体の見直しを開始。ファイルサーバについても、従来のNAS製品をはじめ、Linuxをベースとしたファイルサーバを検討していました。サイバーエージェントの新規開発局インフラグループ 永栄宏安氏は、「B to Cのビジネスは、ユーザ数が増え、それに伴いアクセス数も増えていくのが大前提であり、それがビジネスの成功につながります。ところが、アウトソーシング先が旧システムで採用したストレージは拡張性に大いに問題がありました」と語ります。結局、ストレージの再構築にあたっては、サービス要件とコストのバランスから、IAサーバにほぼ決定されました。ところが、土壇場で新たな提案として上がってきたのが、アイシロン・システムズのクラスタ ストレージだったのです。

サイバーエージェントでは、今年6月下旬の「アマーバビジョン」システムのリニューアルを目前にした5月下旬に購入を決定し、「Isilon IQ 200」を3ノード（筐体）導入しました。永栄氏によると、ストレージ選定に当たって、日本に進出したばかりのベンダーの製品は採用しないというのが基本方針とのこと。そうした方針にもかかわらず、2001年に米国で設立され、2005年6月に日本市場へ進出したばかりのアイシロン製品をあえて採用した理由について、「コスト面に加えて、たとえディスクが複数台同時に崩れてもデータが守られるという、従来のRAIDを基本としたストレージにはないクラスタ ストレージの運用性と信頼性の高さを評価しました」と語ります。

専任の管理者が不要で、保守コストが1/4

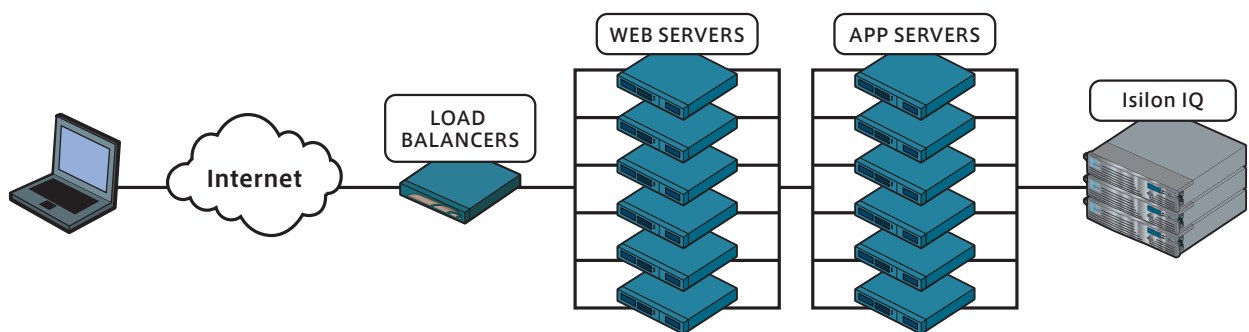
新サービスをスタートするに当たり、システム開発期間を含めは通常1ヶ月未満。常に同時に10のプロジェクトを進行しています。通常のアプライアンスであれば、システム導入までにそれなりに日数がかかってしまうのですが、Isilon IQは、買ってきてインストールするまで、何をやったか全く記憶に残っていないほどあっさり終わったといいます。

アイシロン製品の運用開始から5ヶ月を経て、永栄氏は、「ほとんどほったらかしです。運用の手離れがよく、メンテナンス・増設・データ損失回避の信頼性も抜群ですね。専任者を置く必要がない分、運用・管理に要するコストを大幅に削減できました。旧製品と保守コストの観点から比較すると、1/4のコストダウンが実現できました」と語ります。アマーバビジョンにおいてアイシロン製品の運用性の高さが証明されたことから、「プーペガール」(URL: <http://pupe.jp/>)というソーシャルネットワーキング・サービス用に今年10月、Isilon IQ 200を1ノード追加購入しました。ユーザがアップロードするブランド服や小物など、たくさんの小さな画像ファイルを蓄えるストレージとして利用しておりますが、以前使用していたIAサーバのシステムと比較してユーザのWeb操作のパフォーマンスが2倍以上になったといいます。

インフラの選定は収益とコストとのバランスを重視

今後のアイシロン製品の導入について伺ったところ、永栄氏は、「運用コストの観点からすると、できるだけ複数のサービスを集約して運用・管理していきたいと考えていますが、初期費用がSANやNASに比べて格段に安いとはいえIAサーバよりも高いんですね。我々インフラチームとしては、このインフラコストの伸び率を、サービスの成長よりも低い伸びで抑えることが要求されています。今後のストレージの選定は、あくまでサービスの要件に沿って、コスト重視で決定していきます。その上でアイシロン製品に決定したら、また、是非我々の力になってください」と語ります。

『2008年売上高1,000億、利益200億計画』を掲げているサイバーエージェント。この計画のもと、各サービスにおいてユーザ数とページビューの目標値を設定し、コストとのバランスをとりながら、その目標を満たすシステム機器の購入やシステム開発が一気に進められるという。サイバーエージェントが提供するさまざまなサービスの更なる成長に大いに期待したいものです。



※この図は、Isilon IQクラスタ ストレージを使用したWeb 2.0分野における一般的な構成図を表しています。サイバーエージェントの実際の構成とは異なります。

開発元



アイシロン・システムズ株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-22-1 代々木1丁目ビル 12階

Tel: 03-5358-7188 (代表) Fax: 03-5333-4443

Email: sales-jp@isilon.com www.isilon.co.jp